

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス
 コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 真吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 佐藤 大央

TEL 03-3210-1212

四半期報告書提出予定日 平成27年2月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	5,134	35.8	622	104.2	729	99.7	416	39.2
26年9月期第1四半期	3,780	25.8	304	△22.7	365	△23.4	298	△3.9

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 431百万円 (18.4%) 26年9月期第1四半期 364百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	6.35	6.35
26年9月期第1四半期	4.73	4.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	14,111	7,083	46.4
26年9月期	12,806	7,906	57.6

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 6,541百万円 26年9月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	10.00	—	20.00	30.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	36.5	2,250	0.2	34.33
	~25,500	~54.7	~3,200	~42.5	~48.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ユニテックソフト
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	74,573,440 株	26年9月期	745,734,440 株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	9,032,486 株	26年9月期	9,032,486 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	65,540,954 株	26年9月期1Q	63,187,693 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結の業績概況

当第1四半期連結累計期間(平成26年10月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、消費税増税後の個人消費の落ち込みや近隣諸国の景気動向など、依然としてリスク要因はあるものの、企業収益の改善は続いており人材需要が高まりをみせております。

建設業界におきましては、企業収益の改善により民間設備投資が増加基調で、受注環境は回復傾向となっております。一方、このような市場環境に対し、職人およびゼネコン各社が抱える施工管理者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に建設就業者が不足する事態が生じております。

このような事業環境の下、当社では、建築技術者派遣事業の拡大を最優先課題とし、全国的な建設工事の増加を見据え、技術者の採用に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、下表のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第1四半期	平成27年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	3,780	5,134	+1,354	35.8%
営業利益	304	622	+317	104.2%
経常利益	365	729	+364	99.7%
四半期純利益	298	416	+117	39.2%

② セグメント別の業績概況

当社グループの報告セグメントは「建築技術者派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「子育て支援事業」、「介護事業」および「総合建設事業」の5つとなります。

各セグメントの主な事業および事業会社については、下表をご参照ください。

(平成26年12月31日現在)

セグメント名	主な事業の内容	事業会社名
建築技術者派遣事業	・ 建築現場への施工管理技術者派遣 ・ CADオペレーター派遣	㈱夢真ホールディングス
エンジニア派遣事業	・ 製造業メーカーへのエンジニア派遣	㈱夢テクノロジー
子育て支援事業	・ 保育所の運営 ・ 保育士の派遣	㈱我喜大笑
介護事業 (注1)	・ デイサービス施設の運営	
総合建設事業 (注2)	・ 高級注文住宅などの建築	㈱岩本組

(注1) 「医療介護支援事業」は、介護事業に特化した業務を行っているため、実態に即したセグメント名称に変更いたしました。

(注2) 当連結会計年度より新たに加わったセグメントとなります。

セグメント別の業績については、次のとおりとなります。なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行った数値となります。

(a) 建築技術者派遣事業

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第1四半期	平成27年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	2,633	3,391	+758	28.8%
セグメント利益	293	661	+368	125.5%
期中採用人数	275人	269人	△6人	—
期中平均技術者数	1,825人	2,300人	+475人	—

<当事業の概況>

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、今後想定される全国的なインフラ整備工事、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック関連工事に備え技術者を増員するべく、前期同様、年間採用人数1,600人の計画とし採用活動に注力してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間にて269人の入社となり、それに伴い3ヶ月間の平均技術者数は2,300人、平成26年12月末現在の在籍技術者数は2,311人となっております。

<当事業の業績>

売上高に関しましては、技術者の増員による稼働人数の増加により、前年同四半期比758百万円(28.8%)増加の3,391百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、派遣単価および稼働率の改善による売上総利益率の上昇に加え、販売費及び一般管理費を一定額にコントロールしたことにより、前年同四半期比368百万円(125.5%)増加の661百万円となりました。

(ご参考) 四半期連結会計期間毎の業績推移

① 前連結会計年度(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	平成26年9月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	2,633	3,029	2,930	3,138
売上原価	1,852	2,003	2,048	2,227
原価率	70.4%	66.2%	69.9%	71.0%
売上総利益	780	1,025	881	910
総利益率	29.7%	33.9%	30.1%	29.0%

② 当連結会計年度(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(単位：百万円)

	平成27年9月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	3,391	—	—	—
売上原価	2,249	—	—	—
原価率	66.3%	—	—	—
売上総利益	1,141	—	—	—
総利益率	33.7%	—	—	—

(b) エンジニア派遣事業

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第1四半期	平成27年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	1,012	1,107	+95	9.4%
セグメント利益	76	111	+35	46.7%

<当事業の概況>

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において円高の是正を追い風とした生産の回復がみられました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、主に機械および情報系技術者の採用強化および新規顧客の開拓、稼働率の改善を営業施策の柱として取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,107百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益は111百万円（前年同四半期比46.7%増）となりました。

(c) 子育て支援事業

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第1四半期	平成27年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	65	57	△8	△12.9%
セグメント利益	15	11	△3	△22.2%

<当事業の概況>

子育て支援事業におきましては、認証保育所の運営ならびに保育士の派遣業務を行ってまいりました。

現在4箇所運営している保育所に関しましては、待機児童問題を背景に利用者数は順調に増加いたしました。が、人材不足を要因として保育士の派遣登録人数は減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は57百万円（前年同四半期比12.9%減）、セグメント利益は11百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

(d) 介護事業

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第1四半期	平成27年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	68	83	+14	20.6%
セグメント利益又は 損失(△)	△1	3	+4	—

<当事業の概況>

介護事業におきましては、高齢社会が進む中、介護サービスへのニーズが日ごとに増加していることを受け、デイサービス施設を東京都にて4箇所運営してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は83百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント損失）となりました。

なお、平成27年1月1日に東京都墨田区にて新たなデイサービス施設を開設しております。

(e) 総合建設事業

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第1四半期	平成27年9月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	—	497	—	—
セグメント損失 (△)	—	△58	—	—

<当事業の概況>

総合建設事業におきましては、高級注文住宅に特化した建築工事を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は497百万円、セグメント損失は58百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,305百万円増加し、14,111百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加693百万円、のれんの増加574百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて2,128百万円増加し、7,027百万円となりました。これは主に借入金の増加1,432百万円、工事損失引当金の増加112百万円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて822百万円減少し、7,083百万円となりました。これは主に四半期純利益416百万円、剰余金の配当による減少1,310百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった株式会社ユニテックソフトは、平成26年10月1日付で、当社の連結子会社である株式会社夢テクノロジーを存続会社とする吸収合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の見込支払日までの平均期間に基づいた割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が93百万円減少し、利益剰余金が93百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,755,145	5,353,495
受取手形及び売掛金	2,523,856	2,518,022
たな卸資産	998	694,566
その他	607,374	585,615
貸倒引当金	△31,562	△31,370
流動資産合計	8,855,812	9,120,328
固定資産		
有形固定資産	1,946,169	2,100,093
無形固定資産		
のれん	390,666	964,834
その他	25,324	38,163
無形固定資産合計	415,991	1,002,998
投資その他の資産		
その他	1,634,866	1,937,771
貸倒引当金	△46,824	△49,702
投資その他の資産合計	1,588,041	1,888,068
固定資産合計	3,950,202	4,991,160
資産合計	12,806,014	14,111,489
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,569	8,173
短期借入金	100,000	433,600
1年内返済予定の長期借入金	756,180	1,009,510
未払法人税等	879,846	129,570
賞与引当金	239,722	106,943
工事損失引当金	-	112,009
その他	1,605,225	3,004,640
流動負債合計	3,592,543	4,804,446
固定負債		
長期借入金	892,600	1,737,680
退職給付に係る負債	287,845	305,063
資産除去債務	1,550	1,299
その他	124,956	179,009
固定負債合計	1,306,952	2,223,052
負債合計	4,899,496	7,027,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	3,802,770	3,802,770
利益剰余金	3,841,603	3,012,117
自己株式	△1,012,972	△1,012,972
株主資本合計	7,436,548	6,607,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,702	△64,071
退職給付に係る調整累計額	△1,199	△1,692
その他の包括利益累計額合計	△60,902	△65,763
新株予約権	12,554	12,661
少数株主持分	518,318	530,029
純資産合計	7,906,518	7,083,989
負債純資産合計	12,806,014	14,111,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,780,114	5,134,730
売上原価	2,775,805	3,735,476
売上総利益	1,004,308	1,399,253
販売費及び一般管理費	699,478	776,784
営業利益	304,829	622,469
営業外収益		
受取利息	801	1,283
受取配当金	2,188	3,032
投資有価証券売却益	7,047	-
為替差益	-	29,821
受取家賃	17,629	22,607
補助金収入	46,494	48,617
その他	5,561	24,990
営業外収益合計	79,722	130,353
営業外費用		
支払利息	11,397	8,201
貸貸収入原価	5,808	9,183
その他	2,096	6,102
営業外費用合計	19,301	23,487
経常利益	365,250	729,335
特別利益		
子会社株式売却益	158,680	-
その他	800	275
特別利益合計	159,480	275
特別損失		
固定資産除却損	-	8,085
投資有価証券評価損	15,150	-
企業結合における交換損失	-	21,771
その他	1,480	-
特別損失合計	16,630	29,857
税金等調整前当期純利益	508,100	699,754
法人税、住民税及び事業税	170,013	135,818
法人税等調整額	32,735	129,320
法人税等合計	202,748	265,138
少数株主損益調整前当期純利益	305,351	434,615
少数株主利益	6,423	18,563
四半期純利益	298,928	416,051

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	305,351	434,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,146	△2,410
退職給付に係る調整額	-	△704
その他の包括利益合計	59,146	△3,115
包括利益	364,498	431,500
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	360,117	411,190
少数株主に係る包括利益	4,380	20,309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	介護事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	2,633,064	1,012,268	65,914	68,866	3,780,114	3,780,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,633,064	1,012,268	65,914	68,866	3,780,114	3,780,114
セグメント利益 又は損失(△)	293,222	76,282	15,046	△1,400	383,149	383,149

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	383,149
のれんの償却額	△20,247
全社損益(注)	2,348
四半期連結損益計算書の経常利益	365,250

(注) 全社損益は、主として報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

連結子会社の株式会社ユニテックソフトの株式を追加取得したことに伴い、当第1四半期連結累計期間において、のれんの額が6,709千円増加しております。

また、連結子会社の株式会社夢テクノロジーの株式を一部売却したことに伴い、当第1四半期連結累計期間において、のれんの額が28,252千円減少しております。

なお、当該のれんの額は、報告セグメントに配分しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	介護事業	総合建設 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	3,389,023	1,107,401	57,384	83,044	497,875	5,134,730	5,134,730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,391	—	—	—	—	2,391	2,391
計	3,391,414	1,107,401	57,384	83,044	497,875	5,137,121	5,137,121
セグメント利益 又は損失(△)	661,316	111,922	11,701	3,188	△58,608	729,522	729,522

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	729,522
のれんの償却額	△27,109
全社損益(注)	26,923
四半期連結損益計算書の経常利益	729,335

(注) 全社損益は、主として報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を、従来の「医療介護支援事業」から「介護事業」へと変更しておりますが、当該変更は名称変更のみであり、セグメント区分の方法に変更はありません。

また、当第1四半期連結会計期間より、子会社である株式会社岩本組を連結の範囲に含めたことにより、報告セグメントを「建築技術者派遣事業」「エンジニア派遣事業」「子育て支援事業」「介護事業」「総合建設事業」に変更しております。

④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、子会社である株式会社岩本組を連結の範囲に含めたことにより、当第1四半期連結累計期間において、のれんの額が627,364千円増加しております。

なお、当該のれんの額は、報告セグメントに配分しておりません。